

病院データ

住所	〒006-8555 札幌市手稲区前田1条12丁目1番40号
URL	http://www.keijinkai.com/teine/
連絡先(窓口)	臨床研修支援室 専門研修事務局 小林 011-685-2983 (直通) tkh-senmoni@keijinkai.or.jp
病床数	670床
専門研修指導医数	77人
臨床研修指導医数	67人
外来患者数	1,137人/日 ※令和4年度(2022年度)実績
入院患者数	536人/日 ※令和4年度(2022年度)実績
給与(月額)	50万円



専門研修プログラム

内科

手稲溪仁会病院内科専門研修プログラム

将来のサブスペシャリティを見据えながら内科医の基本を習得します。担当指導医のもとで専攻医の希望に沿った研修計画を作成し、当院2年と連携病院1年の内科専門研修を行います。十分な症例をバランスよく経験し、丁寧な指導を受けることで、充実した研修ができます。そして、つぎのStep upへとつないでいきます。

〔連携施設〕

【病院】北祐会神経内科病院/札幌西門山病院/余市協会病院/総合病院伊達赤十字病院/王子総合病院/富良野協会病院/帯広厚生病院/聖路加国際病院/国立循環器病研究センター/今村総合病院/聖隷浜松病院/沖縄中部病院/北野病院/宮崎市医師会病院

【特別連携等】手稲家庭医療クリニック

小児科

手稲溪仁会病院小児科専門研修プログラム

小児科医としての基本から、重症患者の集中治療まで、幅広い領域を研修できるプログラムです。新生児から思春期までの小児について、十分な医学的知識および診療手技を習得して頂きます。また、丁寧に、家族的に、指導される側のみならず指導する側も楽しく、といった雰囲気で行っています。

〔連携施設〕

【病院】北海道立子ども総合医療・療育センター/札幌北榆病院/市立札幌病院/函館中央病院/稲生会生涯医療クリニック/北海道大学病院/神戸市立医療センター中央市民病院/松戸市立総合医療センター/北九州市立八幡病院

外科

手稲溪仁会病院外科専門研修プログラム

食道44、胃86、大腸268、膵71、肝53、ヘルニア134、ラパ胆252、虫垂炎137、肺162、乳腺88、急性腹症336、心血管376と多数手術で、専攻医に多く執刀していただかなければ回りません。ダヴィンチ(心、肺、食道、胃、直腸)導入。多忙ですが、たくさんの手術機会に恵まれ、手術のできる外科医になれます。

〔連携施設〕

【大学病院】北海道大学病院

【病院】勤医協中央病院/札幌東徳洲会病院/余市協会病院/奥尻町国民健康保険病院/留萌市立病院/総合南東北病院/一宮西病院

整形外科

手稲溪仁会病院整形外科専門研修プログラム

手稲溪仁会病院は670床を持つ急性期病院で、整形外科ではこれまでも独自の後期研修プログラムを構築・運用してきた実績があります。本病院を基幹病院として、札幌市内および近郊の病院や高知県や沖縄県の基幹病院と連携し、ユニークで充実した研修を行います。

〔連携施設〕

【大学病院】北海道大学病院

【病院】北海道立子ども総合医療・療育センター/整形外科北新病院/北海道がんセンター/倶知安厚生病院/余市協会病院/近森病院/友愛医療センター

産婦人科

WIND手稲溪仁会病院産婦人科専門研修プログラム

産婦人科の基本である、周産期・腫瘍・不妊症すべての分野に専門医がおり、当院ではまんべんなく研修できます。なかでも現代の手術に必要な鏡視下手術は全国でも有数の症例数で、早期に技術が身につけられます。常に上級医に相談できる環境で安心して研修できます。

〔連携施設〕

【大学病院】北海道大学病院/関西医科大学病院

【病院】函館中央病院/八雲総合病院/倶知安厚生病院/小樽市立病院/釧路赤十字病院/帯広厚生病院/旭川厚生病院/砂川市立病院/王子総合病院/苫小牧市立病院/網走厚生病院/公立芽室病院/町立中標津病院/富良野協会病院/市立千歳市民病院/江別市立病院/友愛医療センター/一宮西病院

専門研修プログラム

麻 酔 科

手稲溪仁会病院麻酔科専門研修プログラム

術前、術中、術後の一貫した周術期管理を実践しています。当院は超急性期病院で、各種緊急手術を含め北海道トップクラスの手術症例数を有しており、最先端手術も積極的に行っています。術後ICU管理も麻酔科が担い、一貫した周術期管理を可能にしています。また、地域がん診療連携拠点病院でもあり緩和医療にも参加をしています。幅広い分野において十分な研修を送ることが可能です。心臓血管麻酔専門医認定施設、集中治療専門研修施設認定を有しています。

〔連携施設〕

【大学病院】北海道大学病院 【病院】北海道立子ども総合医療・療育センター／砂川市立病院／亀田総合病院

救 急 科

手稲溪仁会病院救急科専門研修プログラム

オールラウンドな救急医の養成と将来像をイメージできることを目的としたプログラムです。当院における初期から三次救急とドクターヘリ研修、大学病院における三次救急研修（集中治療を含む）とリサーチマインドの修得、地方型の救命救急センターもしくは離島での地域に密着した研修で構成されています。

〔連携施設〕

【大学病院】北海道大学病院／札幌医科大学附属病院 【病院】市立函館病院／利尻島国保中央病院／市立釧路総合病院／余市協会病院

院長から

手稲溪仁会医療センターは、基幹施設として『手稲溪仁会病院』での内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科、麻酔科、救急科の7領域に、『手稲家庭医療クリニック』の総合診療科を加えた8つの充実したプログラムを有しております。

様々なバックグラウンドを持った多くの専攻医が集まり、お互いに刺激を受けながら研修できる環境を用意しています。北海道に優秀な『人材』を一人でも多く呼び込むことが当院の使命です。

山と海が近く自然豊かな場所で、JR札幌駅から手稲駅まで快速10分と利便性も兼ね備えた好立地にあります。「来たれ！札幌へ！来たれ！手稲へ！」 われわれは皆さんを熱烈歓迎します!!



院長 古田 康

副院長から



専門研修委員会 管掌副院長

栗本 義彦

専門研修を送る数年間において一番大切な事は、より多くの症例を経験することだと思います。当院は全道において全身麻酔手術症例数は毎年トップクラスです。手術症例数は外科系診療科の頑張りだけで増えるものではなく、その数倍の内科系診療があってこそ成り立つ数字です。通常外来からの待機入院症例に加え、北海道初Sクラス指定の救命救急センターからの急性疾患症例に至るまで、専門研修を勉強し放題と言えるでしょう。勿論、研修中の先生方の健康を見守り、体調に配慮する体制も年々進化しています。670床に対して250を超える常勤医師の数が先生方の専門研修を見守り、私が当院着任後に最も感心した継続した改善意識の高いメディカルおよび事務職員とのチーム医療は高いレベルの研修を約束してくれます。近年の動向から特に内科系専門研修も広く受け入れておりますので気軽にお声掛けください。

専攻医から

当院は三次救急まで対応する急性期医療を担う病院です。日々、さまざまな疾患が入院となり治療にあたり、診療科の垣根も低く、他科からの相談事も多く経験できます。指導医も手厚く、主体的に診療しながら、困った症例があればサポートしてもらえ、教育的な面も兼ね備えております。

興味を持った方は是非一度当院へ見学にいらしてください。



内科専攻医 波多野 涼介

当院は、三次救急まで対応する急性期の地域中核病院です。上肢・下肢・脊椎それぞれ、外傷、慢性期疾患やスポーツ疾患の治療を幅広く行っています。

専攻医は、各分野の専門医の手厚い指導のもと、初年度から手術を100例以上執刀し、手術や外来の経験を積みみます。

抄読会、学会参加・発表など臨床と学術活動の両立が可能であり、休暇や当番日といった労働環境も整備されています。

整形外科専攻医は現在3名在籍しており、切磋琢磨しながら専門研修に取り組んでおりますので、興味がある方はぜひ見学お待ちしております。



整形外科専攻医 朴木 啓悟